

和歌山県商工観光労働部  
(公営企業会計)  
第2次中期経営計画  
最終報告書

平成27年9月

和歌山県商工観光労働部商工労働政策局公営企業課

# 目次

1 概要.....	1
-----------	---

## 2 工業用水道事業

収益的収入の状況.....	2
収益的支出の状況.....	3
収益的収支差額の状況.....	4
資本的収支の状況.....	4
将来需要予想の状況.....	6
事業所別の建設改良費.....	6

## 3 土地造成事業

収益的収入の状況.....	8
収益的支出の状況.....	9
収益的収支差額の状況.....	10
資本的収支の状況.....	11
企業債残高の状況.....	12
定員の状況.....	12
企業用地の販売状況.....	13

(このページは、白紙です。)

## 1. 概要

平成 22 年 3 月に「和歌山県商工観光労働部（公営企業会計）第 2 次中期経営計画－経営 5 か年計画－（平成 22 年度～平成 26 年度）」を策定し、工業用水道事業及び土地造成事業の経営基盤強化への取り組みを行ってきたところですが、平成 26 年度をもって計画期間が終了したことに伴い、同経営計画の計画達成状況について報告を行うものです。

まず、工業用水道事業会計については、ユーザーにおける事業統合や経営効率化の影響を受け、給水収益は計画額を約 3 億円（△9%）減少しましたが、営業外収益や特別利益が約 3 億円増加したため、事業収益は計画額とほぼ同額を確保しました。また、人件費をはじめとした事業費用を約 5 億円（△19%）縮減することで、5 カ年では計画額に比べ約 5 億円（+84%）増の収益的収支差額を確保しました。また、耐震化対策として平成 22 年度に耐震対策を策定し、耐震化工事を行っていますが、平成 25 年 3 月に策定された「工業用水道施設更新・耐震・アセットマネジメント指針」による見直しも行いながら、引き続き 10 年計画で耐震対策を進めていきます。

つぎに、土地造成事業会計については、平成 22 年度から平成 26 年度の 5 カ年で、15 件 163,080 m<sup>2</sup>の企業用地の売却を行い、計画額を約 11 億円（+32%）上回る事業収益を確保できました。また、企業用地の売却等による収入から約 42 億円を、積極的に企業債の繰り上げに充当した結果、平成 26 年度末における企業債残高は約 72 億円となり、計画額を約 12 億円上回る早期償還を行いました。

なお、平成 23 年度に保有土地の評価額を低価法により評価替えし、約 81 億円の含み損を計上しました。5 カ年での収益的収支差額は、計画額を約 79 億円下回っていますが、土地の評価替えによる損失が主な要因となっています。

## 2 工業用水道事業

### 【収益的収入の状況】

給水収益は、一部ユーザーの契約水量の見直しに伴い、平成 23 年度以降は計画を下回る状況となりました。営業雑収益は、計画とほぼ同額で推移しました。

平成 23 年度に海南省の旧官舎跡地を売却し、その売却益を特別利益として計上していません。

会計制度の改正に伴い、平成 26 年度に長期前受金戻入額を営業外収益に、引当基準見直しに伴う引当金取崩額を特別利益に、それぞれ計上したため営業外収益及び特別利益は計画を上回りました。その結果、5 カ年の事業収入全体で、計画とほぼ同額となりました。

(税込、単位：千円)

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 22～ 26 年度計
事業収入	計画①	754,840	757,194	755,545	753,223	751,327	3,772,129
	実績②	754,073	702,814	668,379	667,454	952,211	3,744,931
	差額②-①	△ 767	△ 54,380	△ 87,166	△ 85,769	200,884	△ 27,198
	②/①	99.9%	92.8%	88.5%	88.6%	126.7%	99.3%
営業収益	計画①	726,535	728,526	726,535	726,535	726,535	3,634,666
	実績②	726,885	649,375	642,552	643,307	661,736	3,323,855
	差額②-①	350	△ 79,151	△ 83,983	△ 83,228	△ 64,799	△ 310,811
	②/①	100.0%	89.1%	88.4%	88.5%	91.1%	91.4%
給水収益	計画①	697,829	699,741	697,829	697,829	697,829	3,491,057
	実績②	698,180	617,835	613,847	614,601	632,210	3,176,673
	差額②-①	351	△ 81,906	△ 83,982	△ 83,228	△ 65,619	△ 314,384
	②/①	100.1%	88.3%	88.0%	88.1%	90.6%	91.0%
営業 雑収益	計画①	28,706	28,785	28,706	28,706	28,706	143,609
	実績②	28,705	31,540	28,705	28,705	29,526	147,181
	差額②-①	△ 1	2,755	△ 1	△ 1	820	3,572
	②/①	100.0%	109.6%	100.0%	100.0%	102.9%	102.5%
営業外収益	計画①	28,305	28,668	29,010	26,688	24,792	137,463
	実績②	27,188	24,726	25,826	24,147	83,395	185,282
	差額②-①	△ 1,117	△ 3,942	△ 3,184	△ 2,541	58,603	47,819
	②/①	96.1%	86.2%	89.0%	90.5%	336.4%	134.8%

特別利益	計画①	0	0	0	0	0	0
	実績②	0	28,713	0	0	207,081	235,794
	差額②-①	0	28,713	0	0	207,081	235,794
	②/①	-	皆増	-	-	皆増	皆増

### 【収益的支出の状況】

人件費や維持管理費の抑制を図ったため、営業費用は計画以下に抑えることができました。一方、営業外費用や特別損失は実績が計画を上回りました。その結果、5カ年の事業費用全体では、計画より約5億円余りの支出を抑制することができました。

(税込、単位：千円)

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H22～ 26年度計
事業費用	計画①	634,474	633,203	627,500	636,527	656,555	3,188,259
	実績②	517,885	533,277	507,802	522,722	587,517	2,669,203
	差額①-②	△ 116,589	△ 99,926	△ 119,698	△ 113,805	△ 69,038	△ 519,056
	②/①	81.6%	84.2%	80.9%	82.1%	89.5%	83.7%
営業費用	計画①	612,529	619,748	626,500	635,527	648,674	3,142,978
	実績②	493,480	516,360	497,523	505,950	543,739	2,557,052
	差額①-②	△ 119,049	△ 103,388	△ 128,977	△ 129,577	△ 104,935	△ 585,926
	②/①	80.6%	83.3%	79.4%	79.6%	83.8%	81.4%
人件費	計画①	179,799	179,799	179,799	179,799	179,799	898,995
	実績②	157,029	159,186	146,072	138,520	149,055	749,862
	差額①-②	△ 22,770	△ 20,613	△ 33,727	△ 41,279	△ 30,744	△ 149,133
	②/①	87.3%	88.5%	81.2%	77.0%	82.9%	83.4%
維持 管理費	計画①	252,342	248,687	248,181	247,688	247,209	1,244,107
	実績②	175,357	210,029	204,303	229,868	204,791	1,024,348
	差額①-②	△ 76,985	△ 38,658	△ 43,878	△ 17,820	△ 42,418	△ 219,579
	②/①	69.5%	84.5%	82.3%	92.8%	82.8%	82.3%
減価償却 費等	計画①	180,388	191,262	198,520	208,040	221,666	999,876
	実績②	161,094	147,145	147,148	137,562	189,894	782,843
	差額①-②	△ 19,294	△ 44,117	△ 51,372	△ 70,478	△ 31,772	△ 217,033
	②/①	89.3%	76.9%	74.1%	66.1%	85.7%	78.3%

営業外費用	計画①	21,945	13,455	1,000	1,000	7,881	45,281
	実績②	24,405	16,917	10,279	10,117	31,848	93,566
	差額①-②	2,460	3,462	9,279	9,117	23,967	48,285
	②/①	111.2%	125.7%	1027.9%	1011.7%	404.1%	206.6%
特別損失	計画①	0	0	0	0	0	0
	実績②	0	0	0	6,655	11,929	18,584
	差額①-②	0	0	0	6,655	11,929	18,584
	②/①	-	-	-	皆増	皆増	皆増

### 【収益的収支差額の状況】

収益的収入額の実績が計画とほぼ同額になったのに対し、収益的支出額の実績は計画より抑制することができたため、いずれの年度の収益的収支差額も実績が計画を上回りました。

なお、平成 26 年度の実績は計画を大きく上回っていますが、会計制度の改正に伴い長期前受金戻入額等を計上したためです。

(税込、単位：千円)

		H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H22～26 年 度計
収益的 収支差額	計画①	120,366	123,991	128,045	116,696	94,772	583,870
	実績②	236,188	169,537	160,577	144,731	364,695	1,075,728
	差額②-①	115,822	45,546	32,532	28,035	269,923	491,858
	②/①	196.2%	136.7%	125.4%	124.0%	384.8%	184.2%

### 【資本的収支の状況】

#### ・資本的収入

平成 24 年度の国庫補助金は洗掘防止対策工事に、平成 25 年度の国庫補助金は紀の川第 2 工業用水道の耐震化対策等に対し交付を受けたものです。また、工事負担金は、有田川第 1 工業用水道の新川橋水管橋耐震化工事で生じたものです。

なお、固定資産売却代金は海南市の旧官舎跡地を売却したものです。

#### ・資本的支出

計画では、耐震化対策の進捗に伴い、5 カ年で約 23 億円の建設改良費を見込んでいましたが、ユーザーの需要見込等への対応や、津波浸水予想等により耐震化工事等の実施時期

の検討及び見直しを行った結果、実績額は約7億円となりました。

(税込、単位：千円)

		H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H22～H26 年 度計
資本的収入	計画①	0	0	0	0	0	0
	実績②	0	287	13,500	61,567	0	75,354
	差額②-①	0	287	13,500	61,567	0	75,354
	②/①	-	皆増	皆増	皆増	-	皆増
固定資産 売却代金	計画①	0	0	0	0	0	0
	実績②	0	287	0	0	0	287
	差額②-①	0	287	0	0	0	287
	②/①	-	皆増	-	-	-	皆増
国庫 補助金	計画①	0	0	0	0	0	0
	実績②	0	0	13,500	58,831	0	72,331
	差額②-①	0	0	13,500	58,831	0	72,331
	②/①	-	-	皆増	皆増	-	皆増
工事 負担金	計画①	0	0	0	0	0	0
	実績②	0	0	0	2,736	0	2,736
	差額②-①	0	0	0	2,736	0	2,736
	②/①	-	-	-	皆増	-	皆増
資本的支出	計画①	228,082	246,960	790,969	703,819	359,625	2,329,455
	実績②	24,941	71,533	260,673	280,043	75,306	712,496
	差額②-①	△ 203,141	△ 175,427	△ 530,296	△ 423,776	△ 284,319	△ 1,616,959
	②/①	10.9%	29.0%	33.0%	39.8%	20.9%	30.6%
建設 改良費	計画①	228,082	246,960	790,969	703,819	359,625	2,329,455
	実績②	24,941	71,533	260,673	279,401	75,306	711,854
	差額②-①	△ 203,141	△ 175,427	△ 530,296	△ 424,418	△ 284,319	△ 1,617,601
	②/①	10.9%	29.0%	33.0%	39.7%	20.9%	30.6%
国庫補助 金返還金	計画①	0	0	0	0	0	0
	実績②	0	0	0	643	0	643
	差額②-①	0	0	0	643	0	643
	②/①	-	-	-	皆増	-	皆増



### 【将来需要予想の状況】

将来需要予想に対する実績は、平成 23 年度に、有田川第 3 工業用水道及び紀の川第 2 工業用水道で契約水量の減少が生じたため、需要予想を下回りました。

(単位：m<sup>3</sup>)

		H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H22～26 年度計
有田川第 1	計画①	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	65,000
	実績②	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	65,000
	差額②-①	0	0	0	0	0	0
	②/①	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
有田川第 3	計画①	87,000	87,000	87,000	87,000	87,000	435,000
	実績②	87,000	68,000	68,000	68,000	68,000	359,000
	差額②-①	0	△ 19,000	△ 19,000	△ 19,000	△ 19,000	△ 76,000
	②/①	100.0%	78.2%	78.2%	78.2%	78.2%	82.5%
紀の川第 2	計画①	67,600	67,600	67,600	67,600	67,600	338,000
	実績②	67,600	66,850	66,850	66,850	66,850	335,000
	差額②-①	0	△ 750	△ 750	△ 750	△ 750	△ 3,000
	②/①	100.0%	98.9%	98.9%	98.9%	98.9%	99.1%

### 【事業所別の建設改良費】

耐震化対策として、有田川第 1 工業用水道では小原配水管布設替工事・新川橋水管橋耐震化工事を、有田川第 3 工業用水道では発電機室耐震改修工事を、紀の川第 2 工業用水道では海南配水タンク耐震工事・非常用発電設備設置及び運転支援システム更新工事・杭ノ瀬水管橋耐震工事をそれぞれ実施しました。

(税込、単位：百万円)

		H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H22～26 年度計
有田川第 1	計画①	45	6	84	26	16	177
	実績②	3	69	57	97	6	232
	差額②-①	△ 42	63	△ 27	71	△ 10	55
	②/①	6.7%	1150.0%	67.9%	373.1%	37.5%	131.1%

有田川第3	計画①	146	28	563	589	197	1,523
	実績②	14	1	40	0	16	71
	差額②-①	△ 132	△ 27	△ 523	△ 589	△ 181	△ 1,452
	②/①	9.6%	3.6%	7.1%	0.0%	8.1%	4.7%
紀の川第2	計画①	13	213	144	88	20	478
	実績②	1	1	164	180	49	395
	差額②-①	△ 12	△ 212	20	92	29	△ 83
	②/①	7.7%	0.5%	113.9%	204.5%	245.0%	82.6%
管理センター 等	計画①	11	0	0	0	126	137
	実績②	7	1	0	2	4	14
	差額②-①	△ 4	1	0	2	△122	△123
	②/①	63.6%	皆増	-	皆増	3.2%	10.2%
計	計画①	215	247	791	703	359	2,315
	実績②	25	72	261	279	75	712
	差額②-①	△ 190	△ 175	△ 530	△ 424	△ 284	△ 1,603
	②/①	11.6%	29.1%	33.0%	39.7%	20.9%	30.8%

### 3 土地造成事業

#### 【収益的収入の状況】

土地販売実績が堅調に推移したため、土地売却収益は計画より約 7 億円の増収となりました。同様に、定期借地権設定契約件数も堅調に推移したため、営業雑収益も計画額以上となり、営業収益の実績は計画を大きく上回りました。また、営業外収益については、各年度とも実績が計画を上回りました。

特別利益については、平成 25 年度に土地売買契約の解除に伴い過年度損益修正益・違約金として約 2 億 5 千万円を計上しました。

その結果、5 カ年の事業収益全体で約 46 億円となり、計画を約 11 億円上回りました。

(単位：千円)

		H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H22～ 26 年度計
事業収益	計画①	704,245	704,245	704,245	704,245	704,245	3,521,225
	実績②	1,244,750	549,055	1,064,281	871,338	924,764	4,654,188
	差額②-①	540,505	△ 155,190	360,036	167,093	220,519	1,132,963
	②/①	176.7%	78.0%	151.1%	123.7%	131.3%	132.2%
営業収益	計画①	531,923	531,923	531,923	531,923	531,923	2,659,615
	実績②	1,034,975	345,123	867,279	433,569	733,205	3,414,151
	差額②-①	503,052	△ 186,800	335,356	△ 98,354	201,282	754,536
	②/①	194.6%	64.9%	163.1%	81.5%	137.8%	128.4%
土地売却 収益	計画①	413,600	413,600	413,600	413,600	413,600	2,068,000
	実績②	925,587	217,621	731,501	297,000	612,069	2,783,778
	差額②-①	511,987	△ 195,979	317,901	△ 116,600	198,469	715,778
	②/①	223.8%	52.6%	176.9%	71.8%	148.0%	134.6%
営業雑 収益	計画①	118,323	118,323	118,323	118,323	118,323	591,615
	実績②	109,388	127,502	135,778	136,569	121,136	630,373
	差額②-①	△ 8,935	9,179	17,455	18,246	2,813	38,758
	②/①	92.4%	107.8%	114.8%	115.4%	102.4%	106.6%
営業外収益	計画①	172,322	172,322	172,322	172,322	172,322	861,610
	実績②	209,775	203,932	197,003	189,353	191,559	991,622
	差額②-①	37,453	31,610	24,681	17,031	19,237	130,012
	②/①	121.7%	118.3%	114.3%	109.9%	111.2%	115.1%

その他 営業外 収益	計画①	15,322	15,322	15,322	15,322	15,322	76,610
	実績②	52,775	46,932	40,003	32,353	34,559	206,622
	差額②-①	37,453	31,610	24,681	17,031	19,237	130,012
	②/①	344.4%	306.3%	261.1%	211.2%	225.6%	269.7%
他会計 補助金	計画①	157,000	157,000	157,000	157,000	157,000	785,000
	実績②	157,000	157,000	157,000	157,000	157,000	785,000
	差額②-①	0	0	0	0	0	0
	②/①	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
特別利益	計画①	0	0	0	0	0	0
	実績②	0	0	0	248,416	0	248,416
	差額②-①	0	0	0	248,416	0	248,416
	②/①	-	-	-	皆増	-	皆増

### 【収益的支出の状況】

人件費は平成 24 年度より 1 名増加したため、実績が計画を上回りました。また、維持管理費についても、土地の貸付面積の増加等により国有資産等所在市町村交付金が増加したため、計画を上回りました。

営業外費用については、企業債の早期償還や、低い金利での企業債の借換等の要因により支払利息が大幅に減少しました。

平成 23 年度において、保有する土地の評価額を低価法により評価替えを行い、潜在化していた含み損を特別損失として計上しました。評価替えの結果、平成 24 年度以降の土地売却原価は時価評価で計上しています。また、平成 24 年度以降は、土地価格の下落に伴う土地評価損を約 9 億円計上しています。

その結果、5 カ年の事業費用全体では、計画を約 90 億円上回ることとなりましたが、これは平成 23 年度の低価法適用による特別損失（約 81 億円）及び土地評価損（約 9 億円）が主な要因となっています。

（単位：千円）

		H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H22～ 26 年度計
事業費用	計画①	991,472	976,260	967,165	960,080	953,282	4,848,259
	実績②	2,254,948	8,547,441	1,190,290	939,964	978,325	13,910,968
	差額②-①	1,263,476	7,571,181	223,125	△ 20,116	25,043	9,062,709
	②/①	227.4%	875.5%	123.1%	97.9%	102.6%	286.9%

営業費用	計画①	805,042	805,005	804,970	804,935	804,902	4,024,854
	実績②	2,143,802	281,582	1,102,346	635,195	902,596	5,065,521
	差額②-①	1,338,760	△ 523,423	297,376	△ 169,740	97,694	1,040,667
	②/①	266.3%	35.0%	136.9%	78.9%	112.1%	125.9%
土地売却 原価	計画①	762,104	762,104	762,104	762,104	762,104	3,810,520
	実績②	2,108,729	223,908	686,351	259,090	597,606	3,875,684
	差額②-①	1,346,625	△ 538,196	△ 75,753	△ 503,014	△ 164,498	65,164
	②/①	276.7%	29.4%	90.1%	34.0%	78.4%	101.7%
人件費	計画①	18,008	18,008	18,008	18,008	18,008	90,040
	実績②	15,621	15,614	23,822	23,657	23,293	102,007
	差額②-①	△ 2,387	△ 2,394	5,814	5,649	5,285	11,967
	②/①	86.7%	86.7%	132.3%	131.4%	129.3%	113.3%
維持管理 費	計画①	24,930	24,893	24,858	24,823	24,790	124,294
	実績②	19,452	42,060	54,393	38,096	43,965	197,966
	差額②-①	△ 5,478	17,167	29,535	13,273	19,175	73,672
	②/①	78.0%	169.0%	218.8%	153.5%	177.3%	159.3%
土地評価 損	計画①	0	0	0	0	0	0
	実績②	0	0	337,780	314,352	237,733	889,865
	差額②-①	0	0	337,780	314,352	237,733	889,865
	②/①	-	-	皆増	皆増	皆増	皆増
営業外費用	計画①	186,430	171,255	162,195	155,145	148,380	823,405
	実績②	111,146	98,239	87,944	59,262	34,802	391,393
	差額②-①	△ 75,284	△ 73,016	△ 74,251	△ 95,883	△ 113,578	△ 432,012
	②/①	59.6%	57.4%	54.2%	38.2%	23.5%	47.5%
特別損失	計画①	0	0	0	0	0	0
	実績②	0	8,167,620	0	245,507	40,926	8,454,053
	差額②-①	0	8,167,620	0	245,507	40,926	8,454,053
	②/①	-	皆増	-	皆増	皆増	皆増

### 【収益的収支差額の状況】

平成 23 年度の収益的収支差額は計画を大幅に下回っていますが、これは土地の評価額を低価法に評価替えを行い、約 81 億円の評価損（特別損失）を計上したためです。一方、低価法導入後の平成 24 年度以降は、土地の含み損の解消や支払利息の減少等の要因により、収益的収支差額の赤字幅は縮小されてきています。

(単位：千円)

		H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H22～26 年 度計
収益的収支差額	計画①	△ 287,227	△ 272,015	△ 262,920	△ 255,835	△ 249,037	△ 1,327,034
	実績②	△ 1,010,198	△ 7,998,386	△ 126,009	△ 68,626	△ 53,561	△ 9,256,780
	差額②-①	△ 722,971	△ 7,726,371	136,911	187,209	195,476	△7,929,746
	②/①	351.7%	2940.4%	47.9%	26.8%	21.5%	697.6%

## 【資本的収支の状況】

## ・ 資本的収入

各年度とも企業債の借換えを行ったことによるものです。

## ・ 資本的支出

建設改良費は、御坊・橋本・西浜各工業団地で進入路等の整備に要した経費です。

(単位：千円)

		H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H22～ 26 年度計
資本的 収入	計画①	101,000	1,123,400	2,904,600	1,946,600	3,529,800	9,605,400
	実績②	0	1,157,000	2,118,000	2,351,000	1,567,000	7,193,000
	差額②-①	△ 101,000	33,600	△ 786,600	404,400	△ 1,962,800	△ 2,412,400
	②/①	皆減	103.0%	72.9%	120.8%	44.4%	74.9%
企業債	計画①	101,000	1,123,400	2,904,600	1,946,600	3,529,800	9,605,400
	実績②	0	1,157,000	2,118,000	2,351,000	1,567,000	7,193,000
	差額②-①	△ 101,000	33,600	△ 786,600	404,400	△ 1,962,800	△ 2,412,400
	②/①	皆減	103.0%	72.9%	120.8%	44.4%	74.9%
資本的 支出	計画①	1,147,066	1,727,400	3,374,600	2,397,600	3,990,800	12,637,466
	実績②	1,241,716	1,943,963	3,243,757	2,960,910	2,386,400	11,776,746
	差額②-①	94,650	216,563	△ 130,843	563,310	△ 1,604,400	△ 860,720
	②/①	108.3%	112.5%	96.1%	123.5%	59.8%	93.2%
建設改 良費	計画①	98,066	0	0	0	0	98,066
	実績②	92,716	117,963	68,757	79,910	19,400	378,746
	差額②-①	△ 5,350	117,963	68,757	79,910	19,400	280,680
	②/①	94.5%	皆増	皆増	皆増	皆増	386.2%

企業債	計画①	1,049,000	1,727,400	3,374,600	2,397,600	3,990,800	12,539,400
	実績②	1,149,000	1,826,000	3,175,000	2,881,000	2,367,000	11,398,000
	差額②-①	100,000	98,600	△ 199,600	483,400	△ 1,623,800	△ 1,141,400
	②/①	109.5%	105.7%	94.1%	120.2%	59.3%	90.9%

### 【企業債残高の状況】

企業債については、土地販売収入や土地貸付料等を企業債償還に充当した結果、平成 26 年度末残高は約 72 億円となり、計画額を約 12 億円上回る早期償還を行いました。

(単位：千円)

		H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度
前年度末 残高	計画①	11,398,000	10,450,000	9,846,000	9,376,000	8,925,000
	実績②	11,398,000	10,249,000	9,580,000	8,523,000	7,993,000
	差額②-①	0	△ 201,000	△ 266,000	△ 853,000	△ 932,000
	②/①	100.0%	98.1%	97.3%	90.9%	89.6%
借入額	計画①	101,000	1,123,400	2,904,600	1,946,600	3,529,800
	実績②	0	1,157,000	2,118,000	2,351,000	1,567,000
	差額②-①	△ 101,000	33,600	△ 786,600	404,400	△ 1,962,800
	②/①	皆減	103.0%	72.9%	120.8%	44.4%
償還額	計画①	1,049,000	1,727,400	3,374,600	2,397,600	3,990,800
	実績②	1,149,000	1,826,000	3,175,000	2,881,000	2,367,000
	差額②-①	100,000	98,600	△ 199,600	483,400	△ 1,623,800
	②/①	109.5%	105.7%	94.1%	120.2%	59.3%
当年度末 残高	計画①	10,450,000	9,846,000	9,376,000	8,925,000	8,464,000
	実績②	10,249,000	9,580,000	8,523,000	7,993,000	7,193,000
	差額②-①	△ 201,000	△ 266,000	△ 853,000	△ 932,000	△ 1,271,000
	②/①	98.1%	97.3%	90.9%	89.6%	85.0%

### 【定員の状況】

定員については、各年度とも 2 名と想定していましたが、土地管理及び販売体制の充実を図るために、平成 24 年度より 1 名増員しています。

(単位:名)

		H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度
定員数	計画①	2	2	2	2	2
	実績②	2	2	3	3	3
	差額②-①	0	0	1	1	1
	②/①	100.0%	100.0%	150.0%	150.0%	150.0%

### 【企業用地の販売状況】

計画期間中の5年間で、15社に対し163,080.46㎡の企業用地の販売を行いました。

(単位:件、㎡)

	H22 年度		H23 年度		H24 年度		H25 年度		H26 年度	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
御坊	1	62,628.73	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
橋本	1	17,130.92	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
北勢田	-	-	-	-	1	19,030.99	-	-	-	-
雑賀崎	1	4,716.21	0	0.0	2	3,887.90	0	0.0	0	0.0
西浜	2	6,329.71	1	7,158.6	2	10,805.31	1	10,000.01	3	21,392.08
日高港	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	5	90,805.57	1	7,158.6	5	33,724.2	1	10,000.01	3	21,392.08

※北勢田は平成24年度に完売しています。